

II-4

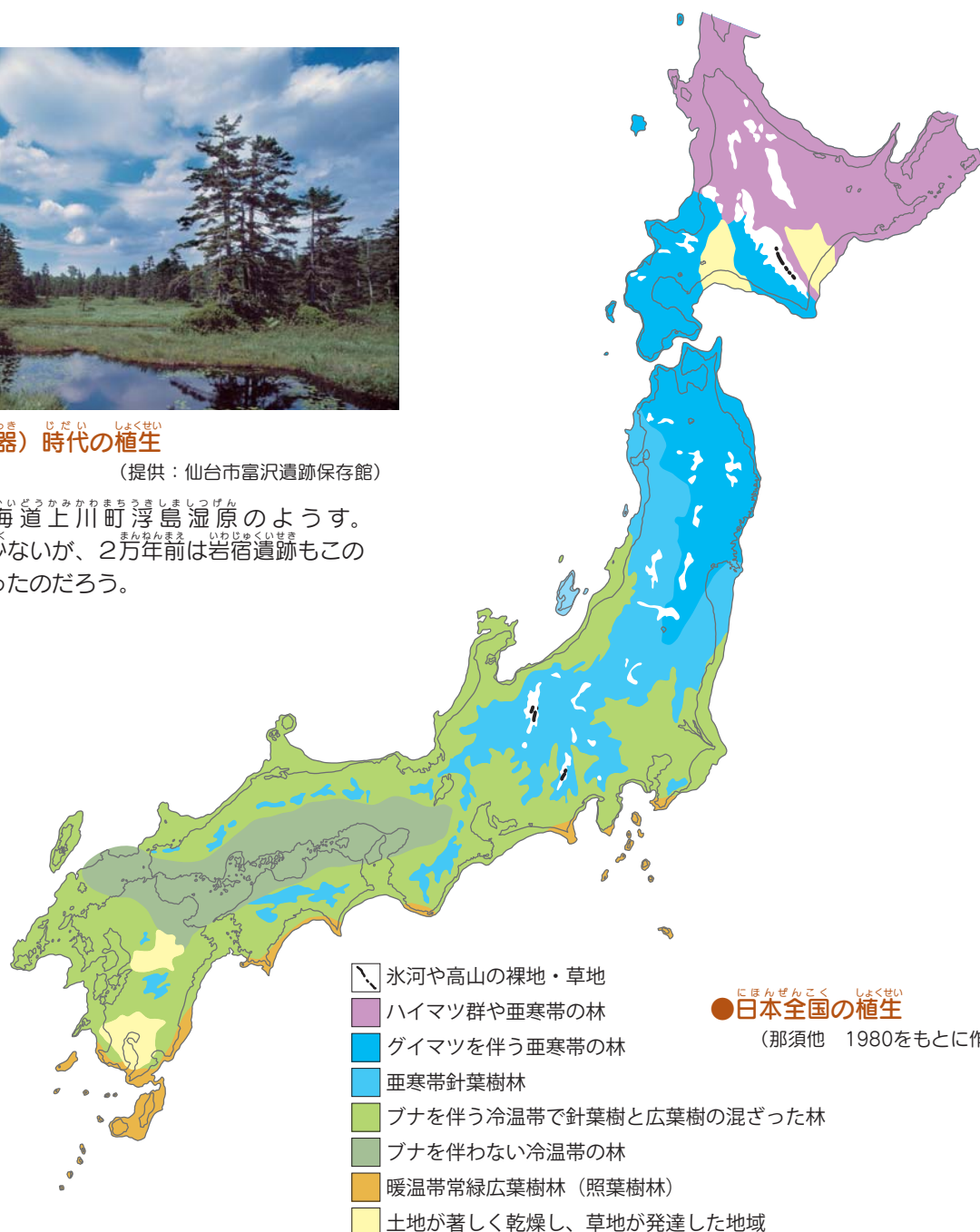
どんな植物が生えていたのだろうか？

氷河時代であった岩宿（旧石器）時代では、気温も寒くまた現在よりも乾燥した気候であったと考えられています。そのため、秋になると葉が落ちるブナなどの落葉広葉樹とモミやカラマツ、トウヒなどの針葉樹が混ざった森林や草原が広がっていたと考えられています。また、クマザサが多く生えていたことも岩宿遺跡での分析で明らかになっています。これらの植物は、現在、標高1400mくらいの高原や北の北海道にみられるような植物が生えていたこととなります。



● 岩宿（旧石器）時代の植生
 (提供：仙台市富沢遺跡保存館)

現在の北海道上川町浮島湿原のようす。落葉広葉樹が少ないが、2万年前は岩宿遺跡もこのような景観だったのだろう。



● 日本全国の植生
 (那須他 1980をもとに作図)